

令和7年 3月18日 (火)

あさひの日だまり

NO.37

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～卒業式を迎えました～

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます

現在卒業式の前日です。いよいよ明日は卒業式が行われます。天候が心配されますが早朝からストーブをつけて体育館を温めたいと思います。寒空のもとの卒業式となるかもしれませんが、心を込めて温かな気持ちで卒業生を送りたいと思います。

体育館をのぞいてみたら卒業生が最後の式練習をしていました。



卒業証書のもらい方、その後の歩き方、礼の仕方、歌を歌うときの隊形、一つ一つ丁寧に練習していました。

「楽しい中学校生活が私たちを待っている」という気持ちで卒業式に参加して欲しいなと思います。

私たちも「さあ前を向いて楽しい未来へ向かって歩みだしなさい！」という思いで卒業式を進めたいと思います。

卒業式では下のような式辞をお話ししようと思っています。

式辞

辰野町教育委員会 福島永(ひさし)様 PTA 会長 林まどか様をはじめ多くのご来賓の皆様にご臨席いただき、このように卒業式を行えることを心より感謝申し上げます。

卒業証書に卒業生の皆さんの名前を書きながら、皆さんがこの世に生を受けた時のことに思いをはせました。ご家族の皆さんはこの世界に生まれてきてくれた皆さんとの出会いにどんなに感謝し感動したことでしょう。皆さんのこれから先の人生の幸福をどれほど強く願ったことでしょう。

卒業証書に書いた皆さんの名前を読み返していると、一人ひとりの名前に込められているご家族の「思い」がひしひしと伝わってくるのです。

ご家族の皆さんの愛に包まれてここまで成長してきた卒業生の皆さん。本日はご卒業おめでとうございます。そして、ご家族の皆様、無償の愛を注いでこられたお子様は今こうして小学校を卒業する節目を迎えました。お子様の卒業を職員一同心よりお祝い申し上げます。

私事の話で申し訳ございません。

私の一輪車の挑戦は、一ヶ月を超えました。ちょっと調べてみたら、皆さんの年齢なら一輪車に数日の練習で乗られるようになるのだそうです。六十歳の私の年齢になると、一か月かかると書いてありました。

昨日お話をしました。私は今のところ一輪車に全く乗れる感じがしません。他の六十歳の人たちよりだいぶ運動神経が悪いみたいで悲しいです。何度も何度もこけました。奥さんから「危ないからやめな」「やっぱり無理でしたと言えいいんだから」と言われています。

どうしてこんなことに挑戦しているのだろうと自分で思うこともあります。

きのうも話したように、正直に言うといつまでたっても乗れないんじゃないかな～」と思っているんです。

でももう一人の私が「もし一輪車に乗れるようになったらどんなに素敵だろう」「体育館の中を自由に一輪車で走れたらどんなに楽しんだろう」と弱気な私に語りかけてくるんです。

私は一輪車の挑戦を続けたいと思っています。けがをしたって治らないほどの怪我をすることはないでしょう。毎日少しずつでも練習

を続けたらいつの日か乗れる瞬間に出会えると信じてみたいんです。自分の未来を信じてみたいんです。

卒業生の皆さん。
失敗が続くと苦しくなって「どうせできやしないさ、もうやめよう」とあきらめの気持ちが湧いてきます。
確かにどんなに頑張っても失敗続きだったり、できるようにならないことに出会ったりします。でも自分の未来のことは自分にも何が起きるかかわからないじゃないですか。もしかしたら、自分の知らない自分に出会える時が来るかもしれない。奇跡が起きるかもしれない。
そう信じられるか信じられないか。そこが人生の分かれ目だと思うのです。
挑戦をやめてしまったら、新しい自分との出会いは決して起こりません。奇跡は決して起きません。そこで可能性の道は途絶えます。それは間違えありません。

卒業生の皆さん、これから先、皆さんの前にはたくさんの挑戦のチャンスが巡ってきます。諦めちゃうときだってあると思います。それはそれでいいんです。ただ、「ここの一番」だと思った時、そしてその「ここの一番」をあきらめちゃいそうになった時、部屋の隅の竹とんぼを眺めながら「あの校長は今でも一輪車に挑戦してるんだろな」って思い出してください。そして「あの竹とんぼは私の挑戦を応援してくれているんだ」って思ってもらえたら嬉しいです。
皆さんの未来が、明るく開けていくことを先生方と心から祈っています。

以上で学校長の式辞を終わります。

令和七年三月十八日

辰野町立辰野東小学校長 片桐 広文

今年度末を持ちまして転退職する職員を紹介させていただきます。
ここまで本当にお世話になりました。地域そしてご家庭の皆様のご支援によりここまで務めを果たすことができました。心より感謝申し上げます。本来ならば一人ひとりご家族の皆様に御礼の言葉を伝えるべきところですが、紙面の都合上名前および転任先のみお知らせしここに感謝の意を示させていただきます。今まで本当にありがとうございました。

お 名 前	職	転 出 先
高野 祥汰	1年担任	茅野市立米沢小学校
三村 幸彦	2年担任	辰野町立辰野西小学校
原 明子	2年担任	伊那市立富県小学校
北條 由美	かがやき担任	伊那市立伊那北小学校
荒井希美恵	音楽専科	朝日村立朝日小学校
中村 敬	小人数学習集団編成担当	退職
岩崎 奈津美	養護教諭	飯田市立上村小学校
飯田 泰明	初任研指導教員	辰野町立辰野西小学校 本務校 箕輪町立箕輪北小学校 辰野町塩尻市小学校組合立両小野小学校
上島 良子	ほっとサポート 教員業務支援員	辰野町立辰野中学校
有賀 邦子	介助員	辰野町立辰野西小学校 ほっとサポート 辰野町立辰野東小学校 学童クラブ支援員
渡辺 智美	教員業務支援員	辰野町立辰野西小学校 学校事務
根橋 順子	調理員	辰野町立辰野西小学校
赤羽 ファンティン	調理員	退職
グラディス フェルナンデス	ALT	辰野町立辰野西小学校 辰野町立辰野中学校

なお、校長の片桐ですが、60歳を迎え役職定年の時期となりましたが、特任校長として来年度も本校にて校長職を務めさせていただくこととなりました。変わらぬご支援のほど何卒お願い申し上げます。